

事務局便り

第90号（令和3年4月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

ワクチンの接種も何とか始まり、武漢ウィルス撲滅の光明も見えたかに思われますが、国内外とも未だに混乱の渦中にあります。4月以降の行事が予定通り実施できるように祈るのみです。

今期間（4月～5月）は、昭和殉難者法務死追悼年次法要と総会があり、執行要員は武漢ウィルス対策等手落ちが無い様に、またご満足頂ける様細心の注意を以て準備を致します。

一人でも多くの会員、草莽の士の参加をお待ちしております。

また、新入会員の皆様には、心から感謝と歓迎を申し上げますと共に、ご協力の程よろしくお願い致します。（加賀本）

案内事項

高野山昭和殉難者法務死追悼年次法要

4月29日(木)に第28回昭和殉難者法務死追悼年次法要を高野山奥之院の慰霊碑前で執り行う予定ですが、武漢ウィルスの猛威ため縮小し、昨年と同様に高野山真言宗菅長総本山金剛峯寺座主葛西光義猊下以下高僧の方々、関係者に限定して実施する事となりました。

心ある多くの方々の参集は叶いませんが、それぞれの地に於いて英霊に対し心からなる感謝と慰霊の誠を捧げて頂きたいと思います。

担当 熊谷

令和3年度総会開催

令和3年度の総会を下記により実施致します。

2年振りの実施でもあり、是非ご参加ください。

武漢ウィルス感染防止対策の万全を期しますが、

マスク着用でのご参加をお願い致します。

記

1. 日 時

5月13日（木）10：00～15：00

2. 場 所

「THE ORIENTAL GARDEN OSAKA」

（一昨年と同じ場所ですが新館「パークルーム」）

です。JR大阪城北詰駅3番出口を右へ徒歩2分（3番出口に案内係を配置します。）

3. 行事次第

I. 総 会：10：00～10：30

II. 陸上自衛隊中部方面音楽隊演奏

10：40～11：20

III. 記念講演：11：30～12：30

講師：自衛隊大阪地方協力本部長

濱田 博之 陸将補

演題：未定

IV. 懇親会：12：50～15：00

料理は「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」

自慢のイタリア料理です。毎回好評の料理と飲み放題をご堪能下さい。

参加費は10,000円（女性は8,000円です）

参加希望者は、同封の「払込取扱書」で5月7日（金）までにお振込下さい。

メール配信の方は、参加の旨を事務局（090-1241-8877 又は 078-952-3063）までご連絡頂き、会費は

当日払いでも結構です。

事前に振込み頂ける場合は、近畿偕行総会（00930-7-39171）宛にお願いします。

なお、会員以外の方の参加も歓迎いたしますので、志ある方にもお声掛け下さい。

担当 加賀本

令和3年度第1回理事会

令和3年度第1回理事会を4月15日（木）

1600～1700で開催を予定しております。

理事の方には、別途ご案内致します。万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

なお、出欠のご連絡は、4月12日（月）までにご連絡ください。

Tel. : 078-952-3063 携帯 : 090-3844-3296

Mail : dfqk007@kcc.zaq.ne.jp

担当 加賀本

令和3年4月・5月度歴史研究会

令和3年2月・3月度の歴史研究会は、中止及び変更しましたので、順延・変更し、以下で予定します。

会員以外の方でも参加できます。

また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)

大阪駅前第1ビル11階南側です。

講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、**2日前までに**加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で3000円程度です。

担当 加賀本

Tel : 072-785-8954 携帯 090-1241-8877

Mail : akio@room.ocn.ne.jp

【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

4月度

日時：4月25日(木) 18～20時

内容：「WHAT NEXT一次に何が起きるか？ コロナ以降全予測」です。

田川顧問に担当して頂きます。

著者は宮崎正弘氏です。

極めてタイムリーな著作である。

予測は、2022年迄は、数次感染が続く。

それは、世界大恐慌の引き金と成り得ると云う恐ろしい未来予測でもある。

但し、現時点では失業・株価暴落・収益悪化等比較的予想可能範囲となっている。

なので、生き延びる知恵も当然出て来る。

それは、コロナ以後の新しい生活様式である。

他方、中国はコロナによって食糧事情がかなり悪化し加えて、歴代王朝滅亡原因の一つとなった蝗害が間近に迫っている。

今後、習主席は「習隠蔽主席」として糾弾される運命となるだろう。

その際、中国の軍隊は容易に匪賊化する。

また、北朝鮮の現体制は一蓮托生となるだろう。

北は、単なる従属変数に過ぎない。

日本は、難民対策が必要となる。

つまり、コロナにより国際金融資本が画策したグローバリズムは当然の如く頓挫したのである。

具体的には、中国のサプライチェーンは解体の途を歩み、中国の発展も終わったのである。

それは、アメリカではなく国際金融資本が企てたものであった。アメリカ民主党はその配下である。

そして、マスメディアも同様である。

共和党トランプ大統領の誕生により、世界は彼らの思うがままに動かなくなった。

ナショナリズムとグローバリズムは相互牽制が働かないと世界も巧く行かないと云う教訓でもあった。

はたして何か劇的に変わるか？ そして何が変わらないのか？ 日本はどのような大転換を迫られるのか？ 「米中の失業率25%」「地域戦争の勃発」など最悪のシナリオも含めて、コロナ以後の世界を予測する。大いにディスカッションしましょう！

5月度

日時：5月27日(木) 18～20時

内容：「見えない手（第1回）」です。

田川顧問に担当して頂きます。

本書は豪州における中共の浸透工作を記した「目

に見えぬ侵略」の続編で、欧米における工作活動の実態を暴露したものです。著者は「目に見えぬ侵略」のクライブ・ハミルトン氏とマレイケ・オールバーグ氏との共著です。

昨年11月3日のアメリカ大統領選挙は、日本人だけでなく世界の良識ある人々をびっくり仰天させました。私は、自由民主主義のメッカ：アメリカでこんなことが起こるとは信じられなかった。何が原因なのか！！本当のことはどうなっているのか？！そんなときに1月に産経新聞に宣伝ででたのがこの本でした。

「Silent Invasion」（目に見えぬ侵略）」でオーストラリアがひどく中国共産党に侵略されていることは知識としては知っていましたが、世界的にはたいしたことはないだろうと、安易な気持ちでおりましたが、「見えない手」ではなんと驚いた事に世界中のディープステートが揃って討ち死にしていることが細部にわたって、実名で書いてある。

是非皆さんに報告したいということで、一連の関係文書を含め要約してみました。（田川）

大いにディスカッションしましょう！

担当 加賀本

令和3年度会費納入のお願い

大半の会員の方には早速、ご納入を頂き有難うございました。

会費は、近畿偕行会の活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。まだ納入されておられない方は、89号に同封の「振込取扱票」にて、メール会員の方は、「**近畿偕行会 (00900-6-29358)**」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。

担当 加賀本

会員増勢のお願い

会員各位へ

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持て

ない国家・国民は滅亡すると言います。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとして、戦没英霊の慰霊顕彰活動を主体的に実施する崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません！！

◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊OB会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！ 奥様・子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

意のある所をお汲み取り頂き、近畿偕行会の隆盛を願って、全員で会員の増勢へのご尽力、ご協力を衷心よりお願い致します。

情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当 加賀本

報告事項

軍神緒方中佐慰霊碑清掃・慰霊行事

3月27日（土）10：00から神戸市中央区の再度山太龍寺に所在する「軍神緒方中佐」の慰霊碑清掃・慰霊行事を実施しました。

因みに、慰霊碑が所在する太龍寺は、奈良時代に和気清麿が創建したと伝えられる観音霊場が起源であり、また、再度山という山の名は、弘法大師が804年に入唐する際、船旅の安寧と学問成就を念じてこの山に参詣し、唐から戻った際、無事帰国できたことを感謝すべく、再度登山し、修行したとの伝説に由来すると言われています。

参加者は、陸上自衛隊八尾駐屯地修親会から新着任の中部方面航空隊隊長三浦英彦1佐以下主要幹部の方々6名、近畿偕行会から加賀本、盛田、熊谷、西川、西の5名、兵庫県隊友会から阪神支部石飛支部長（元空自86Fパイロット）の計12名が参加しました。

去年は5℃の肌寒さの中でしたが、今年は4月下旬の暖かさの中、心を込めた慰霊碑の水洗い清掃

慰霊が実施できました。



清掃なった慰霊碑

熊谷事務局長の大大上手くなった素人般若心経の読経の中、代表者による献花及び参加者一人一人の焼香により、軍神緒方中佐の功績を忍び、霊安らかなれと祈りを捧げました。

例年ならば、その後参加者一同で、会食懇談し懇親を深めるところでありましたが、残念ながら武漢ウィルス禍のため中止し、来年の再会を約して行事を終了しました。



参加者揃い踏み

担当 加賀本・熊谷

陸上自衛隊現役幹部に対する広報教育

会員増勢のための偕行社施策として、陸上自衛隊現役幹部（数年後の退役予定者）に対する広報教育が逐次拡充されており、中部方面隊管内は当会が担当して中部方面隊業務管理教育受講者に対す

る教育を実施しているものです。

令和元年度2回目の広報教育を2月2日（火）実施予定でしたが、武漢ウィルス禍のため教育期間短縮となり、残念ながら実施できませんでした。次回6月の実施を期したいと思います。

担当 加賀本

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊中部方面音楽隊創隊60周年記念スペシャルコンサート

中部方面音楽隊創隊60周年記念スペシャルコンサートが、2月22日（月）ザ・シンフォニーホールで実施されました。

未だ武漢ウィルス禍の関西圏非常事態宣言下でもあり、音楽隊長・後援会長等関係者一同、中止も視野に大いに悩まれましたが、野澤中部方面総監の御英断の下、協力団体・熱烈なるファン等の後押しもあり、単に、中部方面音楽隊の創隊60周年を祝う演奏会では無く、国民防護の最後の砦である日本国自衛隊の音楽隊として、国難とも言うべき事態に国民と共に一丸となって立ち向かう『魂の演奏会』を、感染防止対策に万全を尽くした上で実施されました。

昼の部「特別招待公演」と夜の部「一般公演（公募）」が実施されましたが、隊長「柴田昌宜3佐」の勇躍とした名指揮、歌姫「鶴真衣3曹」の天子の声、「マシュー・ロー氏」のピアノの名演奏による勇壮かつ華麗な演奏に涙を流す人も・・・公演後も「さすが自衛隊だ！！」「よくぞ演奏会を実施してくれた！！このような時だからこそ聞きたかった！！」「良かった！！」「感激した！！」等感嘆の声頻りでした。

より多くの方に見て頂きたかった素晴らしい公演を、入場者の制限せざるを得なかったのは誠に残念の一語に尽きます。



フィナーレの一景（中方広報提供）

担当 加賀本

練習艦隊歓迎の夕べ

例年3月に予定されていた「練習艦隊歓迎の夕べ」は武漢ウィルス禍のため2年連続で本年も中止となりました。

3月中旬江田島の幹部候補生学校を卒業した約200名の幹部実習生の壮途を祝いたいところでしたが本当に残念でなりません。

陰ながら、これから始まる厳しい航海実習の完遂とこれからの活躍を祈りましょう！

担当 加賀本

紹介案内

陸上自衛隊伊丹駐屯地創立記念行事

陸上自衛隊伊丹駐屯地創立70周年記念行事が、4月3日に予定されていましたが、武漢ウィルス禍、感染拡大防止のため中止となりました。

例年、駐屯地が開放され満開の桜とイベント・模擬売店等で賑わう、春の市民憩いの場となっていたのに誠に残念なことです。

担当 加賀本

同期の桜を歌う会

三浦時生氏中心とする有志により、新生「同期の桜を歌う会」が、「武漢ウィルスをぶっ飛ばせ！！同期の桜を歌う会」と銘打って、下記によ

り開催されます。

今日、日本がこれまで復興、発展を遂げたのも、かつてこの歌と共に戦場に赴き、祖国のために青春の命をささげた、多くの戦士、英霊たちがいたおかげです。その思いを込めて私達が桜花の下に相集い、英霊と再会して、その御霊に心から感謝し、お慰めし、そしてこれからの日本を考えるために、「同期の桜」を歌います。

懐かしの軍歌を歌いながら、英霊への思いを馳せ、追悼の思いをささげましょう。

記

日時：令和3年4月3日（土）

午後1時～4時（雨天決行）

会場：大阪護国神社（境内）参加費無料

有志の会代表者

三浦時生 TEL090-1224-4861

担当 加賀本

陸上自衛隊第3師団創立60周年記念行事

陸上自衛隊第3師団創立60周年・千僧駐屯地創設70周年記念行事が、5月16日（日）10時20分から千僧駐屯地で予定されています。

例年ならば、当日駐屯地は一般開放され、式典（観閲行進）・訓練展示の他、各種イベント・模擬売店等、子供さんも楽しめる行事が一杯です。無料で、入場も自由にできます。

多くの方が来場され、現役隊員達を激励して頂ければ幸甚です。

なお、実施の可否・細部、送迎バスの運行等については千僧駐屯地・第3師団広報（TEL 072-781-0021）

にご確認ください。

担当 加賀本

和歌山偕行会便り

和歌山偕行会は、3月15日和歌山市長に対し以下の提言を会長名で提言しました。

和歌山市長 尾花正啓 殿

大震災対処に関する市長への提言

1. 提言のポイント

地震発生後、72時間以内の人命救助の具体的要領（市村長の一義的責任）の周知徹底

2. 被害予想

死傷者の大半は、家屋の下敷きになったの圧死及び津波や火災による溺死・焼死

3. 市の対策の不備点と対策

津波に襲われる自治会に、何のアクションも起こしていない。やるべきことは、津波の来襲に際しては、自助・共助しかない旨を周知徹底することが極めて重要で、その要領についてのアドバイスを計画化することが肝要である。住民や行政で、事前に或いは地震発生後の時間の経過に従い、何が出来て、何が出来ないかを明確しなければならない。

4. 危機管理室と37普連の連携や意見交換が不十分

僭越乍ら、県と市の防災計画を確認させて貰ったが、県は比較的良好であるが、市の計画は抽象的で、事前に準備出来ることも盛り込まれていない。例えば、震度に応じた被害見積はあって然るべきものである。

5. 大規模震災の特徴

被害が広域に及ぶ場合は、自衛隊支援の取り合いになるのが実情であり、第37普通科連隊、特に第1中隊との日頃の連携、調整、懇親及び実力のある防災官の獲得は必須である。

6. 第37普通科連隊、警察、消防及び医師会との擦り合わせの必要性

自衛隊、警察及び消防の任務分担を如何にするかの検討や負傷者の収容場所・病院を市民に周知徹底する広報が必要である。

7. 普段から地域の実情を一番把握している、和歌山市社会福祉協議会と和歌山市との連携協定を結ぶ必要性以上を要するに事前に準備を周到にしておけば数百人の単位で和歌山市民を救えることを銘記すべきと思料します。

和歌山偕行会長 奥野耕三

編集後記

武漢ウィルス禍の中、令和3年度が始まりました。担当者一同頑張りますので、本年度もご協力の程よろしく願います。当面は、総会等の準備にバタバタしています。

今年は、温暖と寒波の入れ替わりで体調もおかしくなりましたが、いよいよ春本番、本便りが着く頃には、例年よりも早く各地の桜も満開の事でしょう。

皆様、武漢ウィルスをぶっ飛ばし、本年度もお元気で各種行事にご参加下さい！！！！

担当 加賀本

近畿偕行会

会長 加賀本 昭雄

編集責任者 熊谷 勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町3-1-4-201

Tel & Fax: 078-952-3063

編集委員 加賀本 昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘2-97

[Tel: 072-785-8954](tel:072-785-8954)